

「東日本大震災」発生から4カ月

登米市の再生と復興への歩み



市職員による市内各施設の放射線量の測定【7月12日 南方幼稚園】

3月11日に発生し、東北各地に多くの爪痕を残した「東日本大震災」から4カ月余りがたちました。徐々に落ちつきを取り戻しつつありますが、甚大な被害を受けた沿岸部の避難者の多くは、現在も市内の避難所や仮設住宅で暮らしています。もとの生活が送れるようになるまでにはまだまだ時間が必要です。市では、一日も早い市民生活の再建のためさまざまな支援や復興対策に取り組んでいます。今月の特集では、震災発生から4カ月目を迎えた登米市のような、復興への取り組みについて紹介します。

登米市の復興への取り組み

市民が安心して暮らせる町づくりを目指して

査定後に順次復旧へ ご理解とご協力を

現在、認定市道については、国庫負担法に基づき災害査定（被害事実の確認行為）が毎週行われています。

7月までに、市内被災箇所約440カ所のうち約100カ所の災害査定が終了し、現在は、残る約340カ所の災害査定の準備と、災害査定が終了した箇所から入札に向けた実施設計を行っており、順次本復旧工事を行う予定となっております。

災害査定は、毎週行われていますが、約440カ所を越える被災箇所があるため、終了までには、相当数の時間が必要となっております。災害査定の終了時期は、現時点では確定していませんが、年内中の終了が見込まれています。なお、橋りょうなどの被災した施設については、被災状況について専門の業者による調査が行われています。

6月13日から通常の 学校給食を提供

東日本大震災の影響で、学校給食センターなどに大きな被害が発生したことに加え、食材納入業者などの被災により食材調達に困難になったため、震災後市内の給食は、パンと牛乳を中心とした簡易給食が提供されてきました。

市では学校給食の一日も早い復旧を目指し、流通の回復などに伴い、品目の追加や米飯の提供などを順次行ってきましたが、食材の流通回復と稼働できる市内9カ所の給食センターで被災した施設分を調理することにより、震災発生から3カ月を経て、6月13日からおかずのついた通常の給食が、市内すべての小中学校で再開されました。



「おいしい給食いただきま〜す」（北方小）

給食が、市内すべての小中学校で再開されました。

登米市に寄せられた 全国からの義援金

義援金は、日本赤十字社などの義援金受付団体や宮城県登米市に寄せられたものを、それぞれの災害義援金配分委員会などで配分対象者や基準などについて審議、決定し配分するもので、現在、義援金受付団体や宮城県、登米市の1次、2次配分を合わせ、死亡、行方不明者1人、住宅全壊1戸当たり110万円、住宅大規模半壊1戸当たり80万円、住宅半壊1戸当たり55万円などが配分されています。市では7月15日から2次配分の振り込みを行っています。が、既に申請がお済みの人については、

大震災4カ月を経過して～復興へ向けて共に進む～



登米市長 たか ひさ
布施 孝尚

東日本大震災が、わたしたちの心に残した大きな傷跡は、4カ月を過ぎた今も癒えることなく、市内における復旧にも時間を要する現状にあります。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故が、さまざまな形で生活や健康、そして農業などの産業にも大きな影響を与えており、大変危惧するところです。しかし、どのような状況に置かれても、先人の方々が築き上げて来られた登米市を次の世代に引き継ぐため、わたしたちは前進して行かなければなりません。わたしは、市民の皆さまと共にこの難局にしっかりと向き合い、本年9月を目途に「登米市震災復興計画」を策定し、一日も早い市民生活の再建を目指して生活基盤である産業の振興と公共施設の復旧、施設再編を図るとともに、持続的に発展していくことができる安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。また、これまで本市は、巨大津波により甚大な被害を受けた沿岸部の市や町への支援を行ってまいりました。隣接する南三陸町では、応急仮設住宅の整備など、復興に向け着実に取り組まれていることをお聞きしており、隣接市として今後も出来る限りの支援を行ってまいります。

平成23年8月1日 登米市長 布施 孝尚

空間放射線量を 測定し結果を公表

福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線量の影響について、市では、市民の皆さんにより正確な情報をお伝えするため、市で購入した放射線量測定機8台と県から貸与されている1台を使用して、市消防署および消防署出張所や学校、教育施設、大きな公園などについて定期的に大気中の放射線量を測定しています。



測定値をメールで
配信しています

登米市メール配信サービス

【登録用URL・メールアドレス】

■<http://tomecity.mail-dpt.jp/>
(パソコン用)

■tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)

上記仮登録用アドレスを入力し、空メールを送信してください。その後、仮登録完了メールが送信されますので案内にしたがって本登録してください。
※右のQRコードで携帯電話から読み取りもできます。



INTERVIEW インタビュー



岩瀬 満さん
(石越町 第十二)

■低温の影響出たが順調に回復し出荷
我が家では、ハウスでキウイ栽培をしていて、震災時は苗を植えて4日目でした。そのため停電による

気温調整をする機器の停止と暖房器具の燃料不足には大変困りましたが、その後は順調に生育し、多少収穫量や果形に影響が出たものの、無事出荷することができました。また、最近気になるのは農産物への放射能の影響です。東北の農業を守るためにも国による素早い対応が取られることを望んでいます。